

石段・石垣とともにある暮らし

沖の島（おきのしま）・鵜来島（うぐるしま）



【場所】高知県宿毛市

沖の島・鵜来島 島内集落



島の人口：沖の島 236人 鵜来島 44人
島の面積：沖の島 9.99 km² 鵜来島 1.31 km²
(平成 17 年国調)

沖の島・鵜来島は、地形が急峻で平地がほとんどないため、人々は石垣を築いて海辺に家建て、山には畑をつくりました。集落の家々をつなぐ石段の道はとても狭く、人がやっと通れるような道を「カルイ」と呼ばれる道具を使って生活物資を運びました。数百年の時にわたってこつこつと積み上げられ、迷路のように張り巡らされた石段は、島の歴史そのものです。集落によってその様相も少しずつ違い、沖の島の石垣は、弘瀬地区では灰色を帯び、母島地区では赤みを帯びています。また、石垣や石段の上に物を干したり夕涼みなどに使う「干棚」があるのも島ならではの風景です。

写真上：赤みを帯びた母島地区の石垣

写真右：灰色を帯びた弘瀬地区の石垣



問い合わせ先：国土交通省都市・地域整備局離島振興課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3

TEL 代表 03-5253-8111(内 33-144) 直通 03-5253-8421